



いちばん泳ぐのが速い魚は何なの

カジキの仲間がいちばん速い

魚のスピードを比べるのは、なかなかむずかしいのですが、今わかっているところでは、カジキの仲間が、いちばん速いとされています。

バショウカジキは、バショウの葉のような大きい背びれを水面に出して泳ぎ、仲間といっしょに小魚の群の周りをぐるぐる回りながら、だんだん群の中心に追いつめ、魚をとらえて食べます。アメリカで行われたテストでは、バショウカジキは100メートルの線をおよそ3.3秒でこえたので、最高時速が約110キロメートルとなります。

マグロやサメも速い

次に速いといわれているのが、マカジキで、時速80キロメートル(100メートルを4.5秒で泳ぐ)、クロマグロも、最高時速74キロメートルで、100メートルをおよそ5秒で泳ぐといわれています。それに続くのが、イタチザメ(人食いザメともいわれている)で、時速およそ50キロメートル、人間はオリンピック水泳選手で時速約8キロメートルですから、サメに追いかけられたらにげられません。

マスが時速24キロメートル、ニシンがおよそ時速6キロメートルなどといわれています。しかし、必死で泳いでいるときのスピードを、魚の種類ごとにテストすることはできませんので、どの数字もおよその目安にしかありません。(監修・安部 義孝)

